



あまうち

舞鶴市立余内小学校
令和5年度学校だより
第7号
令和5年10月2日発行

校区教育目標

自らの未来を切り拓く「生きる力」を
身に付けた次代を担う児童生徒の育成

創立150周年を経て、新たな一歩を

9月16日、余内小学校 創立150周年記念式典を開催しました。150年前というと、社会の教科書に登場する西郷隆盛や大久保利通、今の1万円札に描かれている福沢諭吉などが活躍していた時代です。余内小学校は長い歴史のある小学校だということがわかります。

式典では、余内地域の各団体の代表や歴代校長の皆様方をご来賓としてお招きし、本年度在籍している児童と教職員、そして、当日参加いただいた皆様と共に創立150周年をお祝いするとともに、余内小学校の輝かしい未来と益々の発展を願いました。

ところで、余内小学校の校歌ですが、今から90年くらい前の堀江校長先生がお作りになりました。素晴らしい校歌でわたしも大好きです。式典のあいさつの中で、次のような話をしました。

「この校歌の中で歌い継がれてきた言葉を大切に、この校歌の中の言葉にあるような余内っ子になってほしいと、今までの校長先生や担任の先生方は願ってきました。そして、今、わたしや、みなさんの担任の先生もそう願っています。校歌の1番に「わがまなびやの楽しさよ」とあります。『学ぶことを楽しむ余内っ子』。校歌の3番に「真清水の清きすがたを鑑にて」とあります。『明るく美しい心を持つ余内っ子』。校歌の2番に「まけじ魂雄々しくば」とあります。途中で投げ出さず全力で最後まで努力する余内っ子』。時代は移り変わっても、余内小学校はそんな余内っ子でいっぱい为学校であってほしいと、先生たちも地域の皆さんも願っているのです。今日は式典の最後に校歌と一緒に歌います。歌い継がれてきた言葉を大切に、これからも、次の時代につなげていく気持ちを持ちながら、歌ってくれるとうれしく思います。」

式典の最後に歌った校歌は、今までに聞いた中で最高の歌声でした。練習の成果を出し切ったということもありますが、150周年の節目で歌う校歌に、子どもたちそれぞれが気持ちを込めて歌ったのだと感じました。

今週の土曜日には運動会を開催します。式典が終わってからの、約3週間の練習の成果を存分に発揮してくれると思います。そして、達成感と満足感で笑顔いっぱいの子どもの姿が見られることを期待しています。

10月も、ご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



創立150周年記念石碑



校長 藤原 篤美
教 職 員 一 同